

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2272300738		
法人名	医療法人財団百葉の会		
事業所名	グループホームわたしの家 1階		
所在地	静岡県富士市大淵352-2		
自己評価作成日	令和2年10月15日	評価結果市町村受理日	令和2年11月26日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kajgokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kan=true&amp;jiyosyoCd=2272300738-00&amp;serviceCd=320&amp;Type=search">https://www.kajgokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kan=true&amp;jiyosyoCd=2272300738-00&amp;serviceCd=320&amp;Type=search</a>
----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和2年10月27日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

2月より新型コロナウイルスの感染症の流行に伴い、計画を立てていた企画や地域との交流が実施出来ない状況となり、職員の間では戸惑いもありましたが「コロナ渦でもお客様に楽しんで頂ける事を！」をテーマに、企画は施設内で楽しめる事を、季節のお花を外に出て楽しんで貰いたい、日常の中でレクリエーションや体操を取り入れ少しでも生活に変化を感じて頂きたい、ご家族へも生活の様子を知って頂きたいとブログのアップにも力を入れております。事業所の目標内容も一新致しました。又ズームを活用したオンライン面会や法人内の会議、研修などまだまだ課題はありますが、新しい取り組みも始まり繋がりを感じる事が出来ております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

現管理者が着任以降の安定感が高く、年々取組みに厚みが増していて頼もしい限りです。特に職員の定着率は目に見えて良好で、リフレッシュ休暇やハッピー休暇(自身または同居家族の誕生日の前後に取得可)の実績が右肩上がりです。最近の成果としては、現場のなかに潜む危険要因とそれが引き起こす現象をあげるKYTの伸びがあります。「KYTと思ったらなんでもあげよう」と鼓舞奨励したところ、それまでは月20件に満たないインシデントが翌月には40件となり、先月は143件に跳ね上がっています。また、量1枚分ほど連ねた「ラッキーフォト(ベスト写真)」には利用者も立ち止まり眺めていて、一つひとつが安寧につながっています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	玄関先に理念の掲示を行っており、上期・下期の自己評価の際、理念に沿った仕事が出来ているかの評価を実施、個人面談等を通じて確認しております。	採用時には法人理念と、事業所の姿勢を全員に説明してきており、中途採用研修も今期からスタートしています。職員は年間で個人目標をもち、上期前1回、下期に入る前に1回、下期後に1回と、管理者が個人面談をおこなって、2人3脚での理念推進があります。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	2月までは「歌声サロン」等の地域へ出向く活動を行っていたが、新型コロナウイルスの感染があり地域との交流が行えていない状況にあります。	歌声サロン「つぼみの会」や「イキイキサロン」への参加を通じて地域の皆さんとの交流機会は豊富で、また地域の防災訓練では当事業所の防災委員が仲間に入れてもらえたりなど、活動の拡がりが見られるなか、コロナ禍で現在は中止されています。	各サロンの代表者には葉書きや電話で季節のメッセージを届け、気持ちのうえでの縁が切れないように期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の中・高校生のボランティアや職員が認知症サポーターとなり毎年活動を行っていましたが、今年度はボランティアの受け入れやサポーターとしての活動出来ておりません。可能となったら受け入れや活動を再開致します。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	施設のご利用者様の状況報告や施設内勉強会・地域防災への参加等詳細に報告、写真付きの資料を作成し、活動を可視化出来るよう努めている。参加者より意見も出やすく、サービス向上に繋がっております。	奇数月に隔月開催していた運営推進会議では、運営状況のほか人事や入院など細やかな報告をあげていましたが、コロナ禍となり3月、5月、7月、9月と順次中止のお知らせをメンバーにおこなっています。各回(2ヶ月分毎)の、活動記録の作成は現状未定です。	活動記録については11月分は作成する予定とのことですが、条例下の定めのものであるため、3月分からの2ヶ月毎の活動内容をまとめておく(書面開催とする)ことを期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に、定期的な介護保険課の職員や地域包括支援センター職員の参加がございます。相談等がある際は、その都度電話や窓口へ相談に伺っております。	3ヶ月に1回集まっているグループホーム連絡会では他の事業所との訪問交流もあり、大変有意義でしたが、こちらも休止となっていて、寂しい限りです。少し離れていることもあって地域包括支援センターとはコロナ禍となって以来、連絡を取り合っておりません。	運営推進会議メンバーには電話やはがきで近況報告や時節のご挨拶をおこない、関係継続を図ることを期待します。
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束適正化委員会にておおむね2か月に1回会議を実施、勉強会も定期的に開催しております。会議内で決定した事項は職員全体会議にて委員より報告し、議事録へ会議資料の添付を行っております。	身体拘束未実施減算に係る取組みはつつがなく遂行されています。また、まるこ(こやまケア・ISO)委員会と身体拘束適正化委員会のメンバーは同じであり、サービスや品質向上と同じ意識で話し合うことで着目も見出しやすく、相乗効果が生まれています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の勉強会を年間計画に盛り込み実施、入浴時等お客様の身体観察に努めており、アザ等を発見した際は、インシデント報告書に記載しております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修へ参加し学ぶ機会を作り、特に管理者・介護支援専門員は研修等を通じて社会資源が活用できる様に努めております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時の日時等、利用者様ご家族のご都合に合わせて余裕のある時間で設定、説明を行い同意を頂いている。説明後質問の時間を設けております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	お客様アンケートを年1回実施し、お客様の声に答えております。又ご家族の要望等には常に迅速に対応出来るよう申し送りやキッチン内のボードを活用し職員で情報共有を行っております。	写真とともにお便りを毎月家族に居室担当者が届けており、またよく見てくださる家族が多いブログ掲載も励んでいます。管理者は家族からの情報を職員に落とし込んで共有に努めており、家族から「何か足りないものがありますか」と声がかかるほど関係は蜜月です。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の運営会議や職員全体会議、各委員会会議にて職員の意見や提案を聞き、運営に反映を行っております。	業務マニュアルができて分担当が明確となり、以前にも増して「こうしたほうがいい」は管理者に入っていて、管理者も職員の思い違いは率直にダメと伝え、建設的な提案は「次の会議にもっていくね」と明確に仕分けをしており、和気藹々としたチームワークが形成されています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年度初めに個人目標を設定し、上期・下期で評価を実施しております。職員評価制度による賞与・昇給制度、非常勤職員のベースアップやリーダー・副主任手当の導入、勤怠システムを導入した時間管理など働きやすい仕組み作りを行っております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間で研修計画を立て、研修参加を推進しており、今年度の法人研修はコロナウイルスの流行に伴いZoomを利用した研修を実施。月5回の中途採用者研修も今年度より開始されております。OJTシートを活用したトレーニングをプリセプターを付け異動者や採用者に行っております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH連絡会への参加やGH交流会の実施を行い他事業所と連携を行っております。現在は法人内同サービスの施設と連絡体制を取っております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にご自宅や施設へ出向き、CMや相談員へケアの詳細や注意点をお聞きしたり、お客様本人、ご家族と面談をし、生活状況の把握やご要望をお聞きし、安心して生活をして頂けるような配慮を行っております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様へ密に連絡を取り、要望や不安に感じている事の傾聴を行い、初期の関係づくりに努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人の置かれている状況を、家族や入院先、入所施設へ伺い情報共有を行いながら、その方に合わせたサービスの提供が行えるよう努めております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お客様に合わせた席の配置の検討を行い、なじみの関係が築けたり関係性が上手に行く様に職員がコミュニケーションの橋渡しを行うように配慮しております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	年間計画にお便り作成者を決め毎月発行、その月の企画やGHでの生活の様子を写真で伝え、1カ月間の体調の様子も文書に乗せてお客様担当者にて報告しております。面会時にも生活のご様子をお伝えしております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居時に面会者に制限があるかの確認を行い、可能な限り対応を行う様努めております。現在面会希望の際は、事前連絡・面会場所・人数・時間制限を設け、チェックリスト記入し感染対策の上実施しております。	点つなぎが趣味の利用者には家族が都度シートを届けてくださるほか、朝刊に親しむのが習慣の人もあります。コロナ禍の面会は6月の規制緩和から法人の指導の下、10分程度は玄関先(マスク、消毒、聞き取り、検温あり)で会え、またパソコンのリモートも始めています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	企画の実施時や毎週水曜日、1・2階のご利用者様との交流の機会を設けたり、2階の方が職員と共に1階へ行き話に花を咲かせる場面もあります。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後挨拶に来訪して下さるご家族もおりますが、定期的な来訪はない状況です。今後そのような事例がある際は積極的に対応していきます。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	暮らしへの希望や想いを伝えられない利用者様に対しては、ご家族へお聞きしサービスの反映を行っております。伝えることが出来る方に対しては、その都度ご意向をお伺いしております。	利用者のふとした発語などをノートにこまめに書けない職員もいることから、ホワイトボードを用意して情報収集を確かなものとし、「カルピス味のかき氷食べたい」との小さな願いもこぼさず実現させ、「まるこの委員会(サービス向上に取り組む)」で達成したか確認できています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にご家族や施設に対し出来る限り詳細にアセスメントを取っております。又個別でカルテや生活記録ファイルを作成し職員が閲覧できる仕組みを作っております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別の生活記録バインダーにケアプランを挟み、常時確認できる仕組みとし、食事・バイタルチェック表を壁掛けにして、気になる際は確認し身体状況等の把握に努めております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族への電話連絡や面会・ケアプラン説明時など、ご要望を伺い、お話しが可能なお客様には何気ない会話から要望を引き出ししております。	1階と2階に其々毎月季節の花が活けられていますが、このフラワーアレンジメントは家族が本人の趣味が続くよう花材を届けて下さる賜物で、介護計画書にも位置付けられています。2表のサービス内容は前回との変化を赤文字で表記する工夫も見られます。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録に詳細に日常の様子を記録しております。毎日実施するサービス内容については生活記録へ記載しチェックを行い、3か月ごとのモニタリングとプラン見直しの際に反映を行っております。又申し送り記録やキッチン内のホワイトボードでケアの情報共有を行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	コロナウイルスの影響にて面会に来られないご家族に対し、ズームでのオンライン面会の対応を行っております。緊急時や急変時ご家族対応が難しい場合、GHIにて柔軟に対応を行う様努めております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のいきいきサロンや歌声サロンへ参加、児童クラブの子供たちや法人の保育室ポッポのお子さん達との交流、活動再開が可能となったら積極的に参加して参ります。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月1回、本人やご家族の同意を得て訪問診療を受けております。又体調不良が生じた際も外来にて対応を行って下さいます。ご家族希望時随時先生からのお話もして下さいます。	母体病院が目前にあり、医師にも速やかに来てもらえる距離で安心です。1名のみ家族対応で別のクリニックに通院していますが、17名は協力医の月1回の訪問診療を受けています。立ち合いは管理者またはリーダーで、記録は個人ファイルに収められています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護記録へ、お客様の相談したい事項を記入、職員も付き添い報告を行いながら2週に1回、訪問看護の観察を受けております。又外来診療時間以外の相談も早期に対応やアドバイスをして下さり、主治医等にも繋げて下さいます。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院等があった際は、相談員と連携を取り、情報共有に努め早期に退院が出来るようにご家族様とも密に連絡を取れる体制作りを行っております。又骨折での入院等訪問リハビリを提案しなるべく早期にGHで生活して頂けるよう配慮しております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医よりご家族説明時、管理者同席し、ケアマネージャーも可能な限り同席させて頂き、終末期の方針について、共通の認識を持つように努めております。職員へは全体会議等を通じてケアの検討を行っております。	コロナ禍なものの、母体病院に入院している息子と会えるよう段どりが叶った例もあり、「エアマットで安全に過ごして欲しい」「寂しくないよう好きな童謡を流そう」と意見を出し合い、また出勤時に顔を出すことが自然におこなわれ、職員総意で旅立ちを支援しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時のマニュアルを整備し、内容も現状に合わせて変更しております。夜勤へ入る職員へ急変時の対応や見取りについて、指導を行っております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年間計画の防災委員会活動内容に沿い、定期的な訓練が出来ております。今年度は湖山リハビリテーション病院の防災危機管理室の方も交えて実施、異動者や中途採用者の参加が出来るよう勤務表に組み込んでおります。	小さい事業所ながらも防災委員を4名配し、委員長が防災計画を年次計画に組み込み掲示しています。法人の防災危機管理室の専門家に指導をお願いしたり、当日のシフトは新人職員が日勤となるよう考慮して訓練を体験させています。	採用時のオリエンテーションで通報の手順や避難経路の確認をおこなうことを期待します。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お客様への声掛けや、見守りの際配慮が出来るか職員間でお互いに気を付けております。同性介助を希望されるお客様への対応も職員間で協力をを行い対応しております。	本人の居心地の良さを優先し、見た目は雑然としていても見て見ぬふりをして、就寝直前に夜勤者が直すという人の場合は、本人のパーソナルスペースを大切にすることで症状が緩和され、「夜間の眠りの安定」「マイナス発言がなくなった」と、こやまケアが実っています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の会話の中から、お客様の想いや希望を自己決定をくみ取れる様に、自然な雰囲気でのコミュニケーションを取っております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お客様が個々のペースに合わせて過ごす事が出来るよう、職員もゆったりと関わりを持つように心掛け、お客様の声を聴き要望に出来る限り答えております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	病院に併設している美容院より、ご家族や本人の希望にて職員が依頼をし、美容師さんが来訪して下さいます。又入居前の生活習慣を継続できるよう、ご家族様のご要望にも応えております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	約2か月に1回「わが家の台所」と称し、職員のオリジナルメニューを提供しております。お客様に食事の盛り付けや、テーブル拭き、お盆や食器拭き等を依頼し、出来る限り家事活動に携わって頂いております。	普段は食材と献立・作り方が業者から入っていますが、隔月で「わが家の台所」と銘打ったオリジナルメニューを提供しています。職員が得意なもの、利用者のリクエストに応え、賑わいのある食卓と成っています。また柏もち、おはぎ等、おやつでも時節料理も提供しています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日のトータルの食事量や水分量の確認を行い、十分に摂取出来ない場合申し送りにて報告を行っております。お客様に対して適正な摂取カロリーや栄養バランスが取れる様食材会社の利用を行っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行っております。ご自身で歯磨きが出来る方は、職員が声掛けや見守り、一部介助にて持てる力を生かし行っております。十分に磨けていない方に対しては仕上げ磨きを職員が行っております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表にてお客様個別の排泄パターンを確認しております。排尿の失敗がある方に対し職員間で十分話し合いアイテムの検討を行います。立位が十分に取れない方には、職員2名で介助を行いトイレで排泄が行えるよう支援しております。	排泄チェック表からその人のパターンを掴み、失敗を減らすことは無論のこと、リハビリ病棟から入居の利用者にバルーンがついていたケースでは、便意もあるため布パンツにチャレンジしたり、職員の負担は増えても二重コストを避けて消耗品を検討することが日常に溶け込んでいます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	10時と15時に水分摂取の時間を設け、パラエティーに富んだ飲み物の提供が行えるよう配慮し、水分摂取のアップを行っております。ケアプランにも体操のサービス内容を組み込み体を動かす事を毎日の日課としております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	その方の体調や気分に合わせて入浴の声掛けや対応を行う様心掛けており、入浴出来ない際はキッチン内のボードに記入し翌日の職員へ申し送りを行っております。毎日入浴をしたいとの希望にも応えます。	拒否には勤務ボードに記載のうえ日を替えたり、人を替えています。浴槽をまたげなくなっても安易にシャワー浴とせず、湯に浸かる喜びを継続できるよう支援し、現在5名を2人介助でおこなっています。変わり湯の日として3日間連続で「ゆず風呂」を実施したこともあります。	湯を一人ひとり入れ替えてくださっていますので、浴剤は選べるよう種類を用意することを期待します。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お客様の状況に合わせて休息や就寝の対応を行っており、入眠時には居室内の照明や室温の調整に気を付けております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	調剤薬局を利用しお薬の管理や相談をさせていただいております。訪問診療や他の病院受診時、記録にお薬の変更の欄を設け記入、申し送りにコピーを綴じ職員へ周知又個別薬ケースに錠剤数や薬の包数を記載しチェックできる仕組みを設けております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お客様にお手伝いをして頂いた際は、職員が感謝の言葉を伝える様に心掛けております。ご家族からの差し入れ等も申し送りで各職員へ伝達し、対応を行っております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	2月以降外出企画の実施は行っていないが、GHの畑や玄関先に園芸係の職員さんがお客様に少しでも気分転換になって頂けるように、季節のお花を植えてくれ、外に出る機会が増えております。	玄関先には色とりどりの花がプランターに収まり、奥のスペースには花壇を設け、外気浴がてら水やりや土いじりの作業をしたり、周辺散策、玄関先のベンチで外気浴と、戸外に出ることは僅かでも続けており、専門医への通院の帰りに遠回りする「降りないドライブ」もあります。	



自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	法人の方針にてお金をご家族よりお預かりしておりませんが、外出企画等で買い物に出かける際は事前にご家族へ連絡を行い、施設の立替金で購入してよいか確認し対応しております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人やご家族等からの要望に応えることが出来るよう支援を行っております。ご家族からの荷物が届いた際は連絡後、本人へお渡ししております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	男性職員に施設内の設備修繕を依頼、対応してくれます。毎年「ラッキーフォト」と称その月ごとのお客様の様子分かる掲示物を作成、移動の際に足を止めて眺めている方もおられます。	「ブログを見てた」と、嬉しい言葉とともに入職した職員の得意なものを尋ねたところ、植栽だったことから担当者として任命、事業所に花と緑が増えています。「きれいだね」「土が乾いているから水をやりたい」などと利用者の発語も増え、刺激となっています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	各スペースにソファやベンチが置いており、気の合ったお客様同士でお話される場面もあり、居室でゆったりと過ごしたいとの希望がある方へは適宜居室へさりげなく様子を確認する等し対応しております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際に使い慣れた物や、馴染みの物を持参して頂けるよう、ご家族へ依頼を行っております。	自宅にいた頃カード並べをしていたなごりが滲む使い慣れたテーブルと椅子を持ち込んで、落ち着いて自分の時間を過ごせていた人も、今ではリビングで皆と過ごす時間が長くなっています。転倒があつてベッドの位置を替え、動線を確保した例もあります。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	お客様が安全に移動が出来るように、危険が無いような動線の確保に努めております。お客様のご希望に沿えるよう、歩行時は引き留めない対応を心がけております。		

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2272300738		
法人名	医療法人財団百葉の会		
事業所名	グループホームわたしの家 2階		
所在地	静岡県富士市大淵352-2		
自己評価作成日	令和2年10月15日	評価結果市町村受理日	令和2年11月26日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kajirokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kan=true&amp;jiyosyoCd=2272300738-00&amp;serviceCd=320&amp;Type=search">https://www.kajirokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kan=true&amp;jiyosyoCd=2272300738-00&amp;serviceCd=320&amp;Type=search</a>
----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和2年10月27日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

2月より新型コロナウイルスの感染症の流行に伴い、計画を立てていた企画や地域との交流が実施出来ない状況となり、職員の間では戸惑いもありましたが「コロナ渦でもお客様に楽しんで頂ける事を！」をテーマに、企画は施設内で楽しめる事を、季節のお花を外に出て楽しんで貰いたい、日常の中でレクリエーションや体操を取り入れ少しでも生活に変化を感じて頂きたい、ご家族へも生活の様子を知って頂きたいとブログのアップにも力を入れております。事業所の目標内容も一新致しました。又ズームを活用したオンライン面会や法人内の会議、研修などまだまだ課題はありますが、新しい取り組みも始まり繋がりを感じる事が出来ております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

現管理者が着任以降の安定感が高く、年々取組みに厚みが増していて頼もしい限りです。特に職員の定着率は目に見えて良好で、リフレッシュ休暇やハッピー休暇(自身または同居家族の誕生日の前後に取得可)の実績が右肩上がりです。最近の成果としては、現場のなかに潜む危険要因とそれが引き起こす現象をあげるKYTの伸びがあります。「KYTと思ったらなんでもあげよう」と鼓舞奨励したところ、それまでは月20件に満たないインシデントが翌月には40件となり、先月は143件に跳ね上がっています。また、量1枚分ほど連ねた「ラッキーフォト(ベスト写真)」には利用者も立ち止まり眺めていて、一つひとつが安寧につながっています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	玄関先に理念の掲示を行っており、上期・下期の自己評価の際、理念に沿った仕事が出来ているかの評価を実施、個人面談等を通じて確認しております。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	2月までは「歌声サロン」等の地域へ出向く活動を行っていたが、新型コロナウイルスの感染があり地域との交流が行えていない状況にあります。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の中・高校生のボランティアや職員が認知症サポーターとなり毎年活動を行っていましたが、今年度はボランティアの受け入れやサポーターとしての活動出来ておりません。可能となったら受け入れや活動を再開致します。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	施設のご利用者様の状況報告や施設内勉強会・地域防災への参加等詳細に報告、写真付きの資料を作成し、活動を可視化出来るよう努めている。参加者より意見も出やすく、サービス向上に繋がっております。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に、定期的な介護保険課の職員や地域包括支援センター職員の参加がございます。相談等がある際は、その都度電話や窓口へ相談に伺っております。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束適正化委員会にておおむね2か月に1回会議を実施、勉強会も定期的開催しております。会議内で決定した事項は職員全体会議にて委員より報告し、議事録へ会議資料の添付を行っております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の勉強会を年間計画に盛り込み実施、入浴時等お客様の身体観察に努めており、アザ等を発見した際は、インシデント報告書に記載しております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修へ参加し学ぶ機会を作り、特に管理者・介護支援専門員は研修等を通じて社会資源が活用できる様に努めております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時の日時等、利用者様ご家族のご都合に合わせ余裕のある時間で設定、説明を行い同意を頂いている。説明後質問の時間を設けております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	お客様アンケートを年1回実施し、お客様の声に答えております。又ご家族の要望等には常に迅速に対応出来るよう申し送りやキッチン内のボードを活用し職員で情報共有を行っております。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の運営会議や職員全体会議、各委員会会議にて職員の意見や提案を聞き、運営に反映を行っております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年度初めに個人目標を設定し、上期・下期で評価を実施しております。職員評価制度による賞与・昇給制度、非常勤職員のベースアップやリーダー・副主任手当の導入、勤怠システムを導入した時間管理など働きやすい仕組み作りを行っております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間で研修計画を立て、研修参加を推進しており、今年度の法人研修はコロナウイルスの流行に伴いZoomを利用した研修を実施。月5回の中途採用者研修も今年度より開始されております。OJTシートを活用したトレーニングをプリセプターを付け異動者や採用者に行っております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH連絡会への参加やGH交流会の実施を行い他事業所と連携を行っております。現在は法人内同サービスの施設と連絡体制を取っております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前にご自宅や施設へ出向き、CMや相談員へケアの詳細や注意点を聞きしたり、お客様本人、ご家族と面談をし、生活状況の把握やご要望をお聞きし、安心して生活をして頂けるような配慮を行っております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様へ密に連絡を取り、要望や不安に感じている事の傾聴を行い、初期の関係づくりに努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人の置かれている状況を、家族や入院先、入所施設へ伺い情報共有を行いながら、その方に合わせたサービスの提供が行えるよう努めております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お客様に合わせた席の配置の検討を行い、なじみの関係が築けたり関係性が上手く行く様に職員がコミュニケーションの橋渡しを行うように配慮しております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	年間計画にお便り作成者を決め毎月発行、その月の企画やGHでの生活の様子を写真で伝え、1カ月間の体調の様子も文書に乗せてお客様担当者にて報告しております。面会時にも生活のご様子をお伝えしております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居時に面会者に制限があるかの確認を行い、可能な限り対応を行う様努めております。現在面会希望の際は、事前連絡・面会場所・人数・時間制限を設け、チェックリスト記入し感染対策の上実施しております。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	企画の実施時や毎週水曜日、1・2階のご利用者様との交流の機会を設けたり、2階の方が職員と共に1階へ行き話に花を咲かせる場面もあります。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後挨拶に来訪して下さるご家族もおりますが、定期的な来訪はない状況です。今後そのような事例がある際は積極的に対応していきます。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	暮らしへの希望や想いを伝えられない利用者様に対しては、ご家族へお聞きしサービスの反映を行っております。伝えることが出来る方に対しては、その都度ご意向をお伺いしております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にご家族や施設に対し出来る限り詳細にアセスメントを取っております。又個別でカルテや生活記録ファイルを作成し職員が閲覧できる仕組みを作っております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別の生活記録バインダーにケアプランを挟み、常時確認できる仕組みとし、食事・バイタルチェック表を壁掛けにして、気になる際は確認し身体状況等の把握に努めております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族への電話連絡や面会・ケアプラン説明時など、ご要望を伺い、お話しが可能なお客様には何気ない会話から要望を引き出してしております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録に詳細に日常の様子を記録しております。毎日実施するサービス内容については生活記録へ記載しチェックを行い、3か月ごとのモニタリングとプラン見直しの際に反映を行っております。又申し送り記録やキッチン内のホワイトボードでケアの情報共有を行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	コロナウイルスの影響にて面会に来られないご家族に対し、ズームでのオンライン面会の対応を行っております。緊急時や急変時ご家族対応が難しい場合、GHIにて柔軟に対応を行う様努めております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のいきいきサロンや歌声サロンへ参加、児童クラブの子供たちや法人の保育室ポップのお子さん達との交流、活動再開が可能となったら積極的に参加して参ります。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月1回、本人やご家族の同意を得て訪問診療を受けております。又体調不良が生じた際も外来にて対応を行って下さいます。ご家族希望時随時先生からのお話もして下さいます。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護記録へ、お客様の相談したい事項を記入、職員も付き添い報告を行いながら2週に1回、訪問看護の観察を受けております。又外来診療時間以外の相談も早期に対応やアドバイスをして下さり、主治医等にも繋げて下さいます。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院等があった際は、相談員と連携を取り、情報共有に努め早期に退院が出来るようにご家族様とも密に連絡を取れる体制作りを行っております。又骨折での入院等訪問リハビリを提案しなるべく早期にGHで生活して頂けるよう配慮しております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医よりご家族説明時、管理者同席し、ケアマネージャーも可能な限り同席させて頂き、終末期の方針について、共通の認識を持つように努めております。職員へは全体会議等を通じてケアの検討を行っております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時のマニュアルを整備し、内容も現状に合わせて変更しております。夜勤へ入る職員へ急変時の対応や見取りについて、指導を行っております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年間計画の防災委員会活動内容に沿い、定期的な訓練が出来ております。今年度は湖山リハビリテーション病院の防災危機管理室の方も交えて実施、異動者や中途採用者の参加が出来るよう勤務表に組み込んでおります。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	お客様への声掛けや、見守りの際配慮が 出来ているか職員間でお互いに気を付けてお ります。同性介助を希望されるお客様への対 応も職員間で協力をを行い対応しております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自 己決定できるように働きかけている	日常の会話の中から、お客様の思いや希望 を自己決定をくみ取れる様に、自然な雰囲気 でコミュニケーションを取っております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切に、その日をどのよう に過ごしたいか、希望にそって支援している	お客様が個々のペースに合わせて過ごす事 が出来よう、職員もゆったりと関わりを持つ ように心掛け、お客様の声を聴き要望に出来 る限り答えております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう に支援している	病院に併設している美容院より、ご家族や本 人の希望にて職員が依頼をし、美容師さん が来訪して下さいます。又入居前の生活習 慣を継続できるよう、ご家族様のご要望にも 応えております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準 備や食事、片付けをしている	約2か月に1回「わが家の台所」と称し、職員 のオリジナルメニューを提供しております。お 客様に食事の盛り付けや、テーブル拭き、お 盆や食器拭き等を依頼し、出来る限り家事活 動に携わって頂いております。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて 確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に 応じた支援をしている	1日のトータルの食事量や水分量の確認を行 い、十分に摂取出来ていない場合申し送りに て報告を行っております。お客様に対して適 正な摂取カロリーや栄養バランスが取れる様 食材会社の利用を行っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一 人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケ アをしている	毎食後口腔ケアを行っております。ご自身で 歯磨きが出来る方は、職員が声掛けや見守 り、一部介助にて持てる力を生かし行って頂 いております。十分に磨けていない方に対し ては仕上げ磨きを職員が行っております。		



自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表にてお客様個別の排泄パターンを確認しております。排尿の失敗がある方に対し職員間で十分話し合いアイテムの検討を行います。立位が十分に取れない方には、職員2名で介助を行いトイレで排泄が行えるよう支援しております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	10時と15時に水分摂取の時間を設け、バラエティーに富んだ飲み物の提供が行えるよう配慮し、水分摂取のアップを行っております。ケアプランにも体操のサービス内容を組み込み体を動かす事を毎日の日課としております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	その方の体調や気分に合わせて入浴の声掛けや対応を行う様心掛けており、入浴出来ない際はキッチン内のボードに記入し翌日の職員へ申し送りを行っております。毎日入浴をしたいとの希望にも応えます。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お客様の状況に合わせて休息や就寝の対応を行っており、入眠時には居室内の照明や室温の調整に気を付けております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	調剤薬局を利用しお薬の管理や相談をさせていただきます。訪問診療や他の病院受診時、記録にお薬の変更の欄を設け記入、申し送りにコピーを綴じ職員へ周知又個別薬ケースに錠剤数や薬の包数を記載しチェックできる仕組みを設けております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	お客様にお手伝いをして頂いた際は、職員が感謝の言葉を伝える様に心掛けております。ご家族からの差し入れ等も申し送りで各職員へ伝達し、対応を行っております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	2月以降外出企画の実施は行っていないが、GHの畑や玄関先に園芸係の職員さんがお客様に少しでも気分転換になって頂けるようにと、季節のお花を植えてくれ、外に出る機会が増えております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	法人の方針にてお金をご家族よりお預かりしておりませんが、外出企画等で買い物に出かける際は事前にご家族へ連絡を行い、施設の立替金で購入してよいか確認し対応しております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人やご家族等からの要望に応えることが出来るよう支援を行っております。ご家族からの荷物が届いた際は連絡後、本人へお渡ししております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	男性職員に施設内の設備修繕を依頼、対応してくれます。毎年「ラッキーフォト」と称しその月ごとのお客様の様子分かる掲示物を作成、移動の際に足を止めて眺めている方もおられます。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	各スペースにソファやベンチが置いており、気の合ったお客様同士でお話される場面もあり、居室でゆったりと過ごしたいとの希望がある方へは適宜居室へさりげなく様子を確認する等し対応しております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際に使い慣れた物や、馴染みの物を持参して頂けるよう、ご家族へ依頼を行っております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	お客様が安全に移動が出来るように、危険が無いような動線の確保に努めております。お客様のご希望に沿えるよう、歩行時は引き留めない対応を心がけております。		